

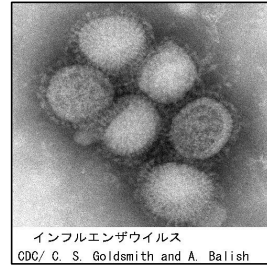
山口県感染症発生週報

(第50週:平成23年12月12日～12月18日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆**結核**: 第45週追加:2例(周南、宇部)。第46週追加:1例(宇部)。第47週追加:1例(宇部)。第48週追加:3例(岩国、宇部、萩)。第49週追加:3例(いずれも宇部)。第50週:2例(周南、山口)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ◆**インフルエンザ**: 患者報告数は増加しています。すべての地域から報告があり、特に周南、山口からの報告が目立ちます。迅速検査では、A型陽性277例、B型陽性1例、臨床診断13例でした。また当所では、萩市で学級閉鎖をした学校の検体と山口の検体について検査を行い、いずれもA/H3(香港型)がPCR法により検出されています。【注意報レベル=周南(新)】※
- ◆**RSウイルス感染症**: 増加傾向にあります。今後さらに増加する可能性がありますので動向に注意が必要です。
- ◆**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 増加しています。山口は今週警報レベルとなりました。【警報レベル=山口(新)】※
- ◆**感染性胃腸炎**: 増加傾向にあります。今後さらに増加する可能性がありますので引き続き注意が必要です。長門、周南、山口では警報レベルが続いています。また、萩も多い状況です。【警報レベル=長門(4週目)、周南(9週目)、山口(6週目)】※
- ◆**水痘**: 増加しています。長門に続き、山口でも今週警報レベルとなりました。また、周南や岩国も多く注意報レベルです。流行時期となっていますので今後の動向に注意が必要です。【警報レベル=山口(新)、長門(2週目)】【注意報レベル=周南(新)、岩国(新)】※
- ◆**伝染性紅斑**: 柳井は報告数が多く、警報レベルが続いています。【警報レベル=柳井(3週目)】※
- ◆**流行性耳下腺炎**: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(2週目)】※
- ◆**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は7例でした。全国的に例年と比較してかなり多い状況ですので引き続き注意が必要です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuyuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	48週	49週	50週	疾患名	48週	49週	50週
インフルエンザ	89	201	291	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	55	78	72	ヘルパンギーナ	3	4	3
咽頭結膜熱	10	5	9	流行性耳下腺炎	27	37	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	103	111	163	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	560	596	538	流行性角結膜炎	6	8	10
水痘	150	129	181	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	14	12	9	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	24	25	28	マイコプラズマ肺炎	8	8	7
突発性発しん	42	35	42	無菌性髄膜炎	0	1	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	4	19	1	171	3	68	16	2	7	291
RSウイルス感染症	25	3	3	21	4	4	8	3	1	72
咽頭結膜熱	4	1	0	0	1	3	0	0	0	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	13	1	19	1	54	20	9	9	163
感染性胃腸炎	63	56	27	109	33	62	73	90	25	538
水痘	26	26	4	50	11	41	11	12	0	181
手足口病	0	0	2	2	4	1	0	0	0	9
伝染性紅斑	1	2	8	11	0	3	2	1	0	28
突発性発しん	12	1	1	9	4	5	7	2	1	42
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
流行性耳下腺炎	16	4	2	4	0	1	0	10	0	37
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	3	0	7	0	0	0	0	0	0	10
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	3	0	1	0	0	0	2	0	7
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0